

1 「話すこと〔やり取り〕」における第1学年の目標及び評価規準

(1) 目標 (CAN-DO リスト)

関心のある事柄に対して、相手の質問に対し、その場で適切に応答したり、関連する質問をしたりして、互いに会話を継続することができる。

(2) 評価規準 (「話すこと〔やり取り〕」)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
[知識] 英語の特徴や決まりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝え合う技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、伝え合っている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてやり取りしようとしている。

※実際の指導と評価に当たっては、「書くこと」の評価規準も設定することが考えられる。

2 単元の目標と評価規準

(1) 目標

外国の人に「行ってみたい」と思ってもらえるように、日常的な話題(町や地域の行事など)について、相手に情報を求めたり、相手に自分の知っている情報を伝えたりすることができる。

(2) 評価規準 (「話すこと〔やり取り〕」)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
[知識] 現在進行形や助動詞 can などの既習表現を用いた文の構造を理解している。 [技能] 町や地域の行事について、事実や自分の考え、気持ちなどを、現在進行形や助動詞 can などの文を用いて伝え合う技能を身に付けている。	外国の人に「行ってみたい」と思ってもらえるように、町や地域の行事について、事実や自分の考え、気持ちなどを、既習表現を用いて、伝え合っている。	外国の人に「行ってみたい」と思ってもらえるように、町や地域の行事について、事実や自分の考え、気持ちなどを、既習表現を用いて、伝え合おうとしている。

(3) 単元の指導計画

時間	ねらい (■) 言語活動等 (○)	評価 (案)		
		知	思	態
1	<p>■単元の目標を理解することができる。</p> <p>■現在形と現在進行形を区別して、人物の動作の状況を説明することができる。</p> <p>○写真を見て、描かれている動作や状況を伝え合う。</p> <p>○現在形と現在進行形の、構造や意味、機能を理解する。</p>			
2	<p>■教科書の対話文を読み、その登場人物の状況を読み取り、伝え合うことができる。</p> <p>○毎朝の過ごし方についてのやり取り (Small Talk) を行い、考えたことや感じたことなど、ペアで伝え合う。</p> <p>○教科書の対話文を読み、その登場人物の状況や様子をグループで表現したり伝え合ったりする。</p>			
3	<p>■現在形と現在進行形を区別して、今の状況と相手に関わることを互いに聞き合い、伝え合うことができる。</p> <p>○電話での会話表現を理解する。</p> <p>○現在形と現在進行形の構造や意味、機能を理解した上で、映画に誘うスキットを作成し、発表する。</p>			
4	<p>■教科書の対話文を読み、その登場人物の状況を読み取り、伝え合うことができる。</p> <p>○教科書の対話文を読み、その登場人物の状況や様子をグループで表現したり伝え合ったりする。</p> <p>○理想の正月の過ごし方について、考えたことや感じたことなど、ペアで伝え合う。</p>			
5	<p>■教科書の対話文を読み、その登場人物の状況を読み取り、伝え合うことができる。</p> <p>○理想の正月の過ごし方について、考えたことや感じたことなど、ペアで伝え合う。</p> <p>○ペアで伝え合った感想を別のパートナーに伝達する。</p> <p>○教科書の対話文を読み、その登場人物の状況や様子をグループで表現したり伝え合ったりする。</p>			
6	<p>■既習の表現を活用し、適切な情報を伝え合うことができる。</p> <p>○写真を見て、相手からの質問に対して、その場で適切に応答したり、関連する質問をしたりして、写真から町行事について伝え合う。</p>		○	○
7	<p>■既習の表現を活用し、即興で適切な情報を伝え合うことができる。</p> <p>○写真を見て、相手からの質問に対して、その場で適切に応答したり、関連する質問をしたりして、写真から町行事について伝え合う。</p> <p>○自らの学習を振り返り、学習をまとめる。</p>	○	○	○

3 パフォーマンステスト

(1) 内容

写真を見て、相手からの質問に対して、その場で適切に応答したり、関連する質問をしたりして、写真から町行事について伝え合う活動

(2) 準備する課題

〈やり取り(例)〉

A	I like the ○○○ festival. Are there any festivals in your town?
B	Yes, We have.
A	Please tell me about them.
B	OK. We have the ○○○ festival in my town.
A	What can you do in the festival?
B	I can eat French fries and so on. They are so good. / I can see fire work at night. They are so beautiful.
A	Oh, I see. That's interesting.
B	Have a look at this picture of the ○○○ festival. You can see members of the school brass band.
A	What are they doing?
B	They are walking around the city with the instruments. / They are playing musical instruments.
A	Oh, I see. Sounds good.
B	Do you have any festivals in your town?
A	Yes, we do. We have the ○○○ festival. Here is a picture of the ○○○ festival.
B	What can you do there? / What are they doing?
A	Good job! (some comments) Thank you.
B	Thank you too.

A:教員・B:生徒 / A・B:生徒 のいずれかを設定する。

〈問題資料〉 動作の様子を含む町行事写真



【問題資料 (例)】

(3) 採点の基準（ルーブリック）

評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	誤りのない、正しい英文でやり取りすることができる。	「b」に加えて、事実や自分の考えなどの詳細を話したり、様々な視点から質問したりしている。	「b」に加えて、事実や自分の考えなどの詳細を話したり、様々な視点から質問したりしようとしている。
b	誤りが一部あるが、コミュニケーションの理解に支障のない程度の英文でやり取りすることができる。	写真を見て、①動作や状況を説明しながら、②それについての感想や魅力を話したり、③相手のことについて意見を求めたり、話題を広げたりしながら、対話を継続させている。	写真を見て、①動作や状況を説明しながら、②それについての感想や魅力を話したり、③相手のことについて意見を求めたり、話題を広げたりしながら、対話を継続させようとしている。
c	「b」に達していない。	「b」に達していない。	「b」に達していない。

※「思考・判断・表現」について、単元を通して指導したことを踏まえて、以下の3つの条件を全て満たしていれば「b」としている。

条件1: 写真内の動作や状況を説明している。

条件2: 自分の意見や感想を話している。

条件3: 相手のことについて意見を求めたり、話題を広げたりしている。

1 「話すこと〔やり取り〕」における第1学年の目標及び評価規準

(1) 目標 (CAN-DO リスト)

身近な事柄について、相手に質問したり、質問されたことに対し適切に応答したりすることができる。

(2) 評価規準 (「話すこと〔やり取り〕」)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
[知識] 英語の特徴や決まりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝え合う技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、伝え合っている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてやり取りしようとしている。

※実際の指導と評価に当たっては、「書くこと」の評価規準も設定することが考えられる。

2 単元の目標と評価規準

(1) 目標

他者と情報のやり取りを行うために、日常的な話題(過去の出来事など)について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。

(2) 評価規準 (「話すこと〔やり取り〕」)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
[知識] 一般動詞、be 動詞の過去形について理解している。 [技能] 過去にしたことなどについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、一般動詞の過去形、be 動詞の過去形などの簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりする技能を身に付けている。	ALTと冬休みの出来事について情報のやり取りを行うために、過去にしたことなどについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。	ALTと冬休みの出来事について情報のやり取りを行うために、過去にしたことなどについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。

(3) 単元の指導計画

時間	ねらい (■) 言語活動等 (○)	評価 (案)		
		知	思	態
1	<p>■単元の目標を理解することができる。</p> <p>■キング先生がしたことを聞いて、内容を理解することができる。</p> <p>○本文の内容を聞き取る。</p> <p>○本文の内容についてのやり取りをする。</p>			
2	<p>■キング先生がしたことを、友だちに英語で伝えることができる。</p> <p>○本文の内容についてのリテリングを行う。</p>			
3	<p>■ソフィアとみんなのやり取りを聞いて、内容を理解することができる。</p> <p>○本文の内容を聞き取る。</p> <p>○本文の内容についてのやり取りをする。</p>			
4	<p>■昨日したことについて、友だちとやり取りすることができる。</p> <p>○昨日したことについて、1分間のやり取りを行う。</p>			
5	<p>■アヤやソフィアがしたことについてまとめた文章を読んで、内容を理解することができる。</p> <p>○本文の内容を聞き取る。</p> <p>○本文の内容についてのやり取りをする。</p>			
6	<p>■週末したことについて、友だちとやり取りすることができる。</p> <p>○週末したことについて、友だちとやり取りを行う。</p> <p>○本文の内容についてのリテリングを行う。</p>			
7	<p>■ソフィアへのお礼の手紙を読んで、内容を理解することができる。</p> <p>○本文の内容を読み取る。</p> <p>○本文の内容についてのやり取りをする。</p>			
8	<p>■冬休みに遊んだ友だちに、手紙を書くことができる。</p> <p>○お礼の手紙を書く。</p>		○	
9	<p>■友だちにこの前の日曜日にしたことをたずね、その内容をまとめて書くことができる。</p> <p>○この前の日曜日にしたことについてペアでやり取りをする。</p> <p>○友だちがこの前の日曜日にしたことをまとめて書く。</p>		○	
10	<p>■冬休みにしたことなどについて説明したり、情報をやり取りしたりすることができる。</p> <p>○ALT に冬休みにしたことについて伝えたり、質問したりする。</p>	○	○	○

3 パフォーマンステスト

(1) 内容

冬休みに行ったところや楽しんだこと、その場所で食べたもの、その感想等について、ALT と伝え合う活動(写真やイラストを使いながら紹介してもよい)

(2) 準備する課題

この冬休みの出来事について、ALTの先生と紹介し合うことになりました。自分の冬休みの出来事や感想を1分間で紹介した後、ALT の先生の質問に答えたり、自ら質問したりするなどして、やり取りを行ってください。

持参した写真やイラストを活用しても構いません。

やり取りを行う時間は5分間です。

(3) 採点の基準 (ルーブリック)

評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	誤りのない正しい英文で話すことができる。	「b」に加えて、自分の思い出の詳細を話したり、質問したりしている。	「b」に加えて、自分の思い出の詳細を話したり、質問したりしようとしている。
b	誤りが一部あるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文を用いて話すことができる。	冬休みの思い出について、行った場所や体験したこと、その場所で食べたもの、その感想などを話したり、質問したりしながら対話を継続させている。	冬休みの思い出について行った場所や体験したこと、その場所で食べたもの、その感想などを話したり、質問したりしながら対話を継続させようとしている。
c	「b」を満たしていない	「b」を満たしていない	「b」を満たしていない

※「思考・判断・表現」について、単元を通して指導したことを踏まえて以下の3つの条件をすべて満たしていれば「b」としている。なお、生徒の実態や指導の状況を踏まえ、すべての条件を満たしていれば「a」、2個なら「b」、1個以下なら「c」とすることも考えられる。

条件1:自分のしたことについて話している。

条件2:その時の感情もあわせて話している。

条件3:全体の流れを意識して、質問したりしながら対話を継続している。

1 「話すこと〔やり取り〕」における第2学年の目標及び評価規準

(1) 目標 (CAN-DO リスト)

関心のある事柄について、相手からの質問に対し、その場で適切に応答したり、関連する質問をしたりして、互いに会話を継続することができる。

(2) 評価規準 (「話すこと〔やり取り〕」)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>[知識] 英語の特徴や決まりに関する事項を理解している。</p> <p>[技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝え合う技能を身に付けている。</p>	<p>コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、伝え合っている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてやり取りしようとしている。</p>

※実際の指導と評価に当たっては、「読むこと」や「書くこと」などの評価規準も設定することが考えられる。

2 単元の目標と評価規準

(1) 目標

他者と情報のやり取りを行うために、日常的な話題(日本の地理、買い物など)について、必要な情報を伝えたり、相手に情報を求めたりすることができる。

(2) 評価規準 (「話すこと〔やり取り〕」)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>[知識] 原級に er を付けた比較級や疑問詞 how を用いた文の構造を理解している。</p> <p>[技能] 商品のサイズや色、値段について、原級に er を付けた比較級や疑問詞 how などの簡単な語句や文を用いて伝え合う技能を身に付けている。</p>	<p>自分が欲しい品物が買えるように、商品のサイズや色、値段について、簡単な語句や文を用いて、伝え合っている。</p>	<p>自分が欲しい品物が買えるように、商品のサイズや色、値段について、簡単な語句や文を用いて、伝え合おうとしている。</p>

(3) 単元の指導計画

時間	ねらい (■) 言語活動等 (○)	評価 (案)		
		知	思	態
1	<p>■本単元で身に付ける技能や理解する内容を知り、見通しをもつことができる。</p> <p>■2つのものを比べて説明することができる。</p> <p>○地図帳を用いて、川の長さ、山の高さ、町の大きさなどを比べる文を作り、クイズ形式で伝え合う。</p>			
2	<p>■比較級を含む本文を読み取り、武史のクラスの学校紹介ビデオについての会話内容を理解することができる。</p> <p>○ソフトテニスの起源などについて話し合う。</p>			
3	<p>■もっとも程度が高いものについて説明することができる。</p> <p>○地図帳を用いて、川の長さ、山の高さ、町の大きさなどについて最上級を用いて説明する文を作り、クイズ形式で伝え合う。</p>			
4	<p>■最上級を含む本文を読み取り、武史のソフトテニスについての発表内容を理解することができる。</p> <p>○ソフトテニスと硬式テニスの違いについて話し合う。</p>			
5	<p>■同じ程度のものについて説明することができる。</p> <p>○身のまわりにある同じくらいのものについて説明する文を作り、伝え合う。</p>			
6	<p>■同等比較を含む本文を読み取り、桃子の合唱コンクールについての発表内容を理解することができる。</p> <p>○本校の文化祭(合唱)との共通点と相違点について話し合う。</p>			
7	<p>■買い物の場面で用いられる表現について比較級を用いて表すことができる。</p> <p>○店員に自分に合うサイズを探してもらうにはどのように言えばよいかを話し合う。</p>		○	○
8	<p>■洋服店で、気に入った商品のサイズや色について店員と適切にやり取りすることができる。</p> <p>○様々な設定で買い物のロールプレイをする。</p>	○	○	
9	<p>■与えられた設定で、買い物することができる。</p> <p>○ALT(店員役)とやり取りし、気に入った商品を買う。</p>	○	○	○

3 パフォーマンステスト

(1) 内容

目的の品物を手に入れるために、相手からの質問に対し、その場で適切に応答したり、関連する質問をしたりして、やり取りする活動

(2) 準備する課題

<やり取り(例)>

A	Can I help you?
B	I'm just looking, thank you.
A	Is everything OK?
B	Well, I like this shirt. But it looks a little small for me. Do you have a bigger one?
A	All right. How about this one?
B	This is very good. I'll take it.

<問題資料>



※A:教員等、B:生徒 ※洋服店で在庫を探してもらい買い物をする。

(3) 採点の基準 (ルーブリック)

評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	誤りのない正しい英文で話すことができる。	「b」に加えて、自分の考えなどの詳細を話したり、様々な視点から質問したりしている。	「b」に加えて、自分の考えなどの詳細を話したり、様々な視点から質問したりしようとしている。
b	誤りが一部あるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文を用いて話すことができる。	買い物の場面において、①原級にerを付けた比較級や疑問詞 How などの簡単な語句や文を用いながら、②自分が欲しい品物が買えるように、商品のサイズや色、値段について話したり、③相手の考えを求めたり、話題を広げたり深めたりしながら対話を継続させている。	買い物の場面において、①原級にerを付けた比較級や疑問詞 How などの簡単な語句や文を用いながら、②自分が欲しい品物が買えるように、商品のサイズや色、値段について話したり、③相手の考えを求めたり、話題を広げたり深めたりしながら対話を継続させようとしている。
c	「b」を満たしていない	「b」を満たしていない	「b」を満たしていない

※「思考・判断・表現」について、単元を通して指導したことを踏まえて以下の3つの条件を全て満たしていれば「b」としている。

条件1:原級に er を付けた比較級や疑問詞 How などの簡単な語句や文を用いている。
 条件2:自分が欲しい品物が買えるように、商品のサイズや色、値段について伝えている。
 条件3:相手の考えを求めたり、話題を広げたり深めたりしながら対話を継続している。

1 「話すこと〔やり取り〕」における第3学年の目標及び評価規準

(1) 目標 (CAN-DO リスト)

日常生活における身近な場面で、事実や自分の考えなど、英語を用いて適切にやり取りをすることができる。

(2) 評価規準 (「話すこと〔やり取り〕」)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
[知識] 英語の特徴や決まりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝え合う技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、伝え合っている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてやり取りしようとしている。

※実際の指導と評価に当たっては、「読むこと」や「書くこと」などの評価規準も設定することが考えられる。

2 単元の目標と評価規準

(1) 目標

外国の人に「見てみたい」と思ってもらえるように、日常的な話題（オリンピックなど）について、事実や自分の考え、気持ちなどを、関係代名詞などを用いて伝え合うことができる。

(2) 評価規準 (「話すこと〔やり取り〕」)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
[知識] 関係代名詞を用いた文の構造や表現を理解している。 [技能] 東京オリンピック・パラリンピックについて、事実や自分の考え、気持ち、その理由などを関係代名詞などの文を用いて伝え合う技能を身に付けている。	外国の人に東京オリンピック・パラリンピックを「見てみたい」と思ってもらえるように、オリンピックやパラリンピックについて事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句を用いて理由とともに、伝え合っている。	外国の人に東京オリンピック・パラリンピックを「見てみたい」と思ってもらえるように、オリンピックやパラリンピックについて事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句を用いて理由とともに、伝え合おうとしている。

(3) 単元の指導計画

時間	ねらい (■) 言語活動等 (○)	評価 (案)		
		知	思	態
1	<p>■単元の目標を理解することができる。</p> <p>○映像資料の活用や教科書の対話文を聞いて、考えたことや感じたことなどを伝え合う。</p> <p>○対話文等で使われている未知の語の意味や関係代名詞(主格)の構造と意味を理解する。</p>			
2	<p>■対話文を読み、考えたことや感じたことなどを伝え合ったり、書いたりすることができる。</p> <p>○関係代名詞が含まれた文を読んで、自分の考えたことや感じたことをペアで伝え合う。</p> <p>○ペアで話した内容を踏まえ自分の考え等を書く。</p>			
3	<p>■関係代名詞を正しく活用しながら、人や物について説明することができる。</p> <p>○関係代名詞(主格)を使って好きな有名人やアーティストについて理由を加えながらペアで伝え合い、やり取りを継続する。</p>	○		
4	<p>■自分の考えたことや感じたことについて理由を加えながら伝え合うことができる。</p> <p>○関係代名詞(主格)を使って、メモを基におすすめる物について考えやその理由を加えながらペアで伝え合う。</p>	○	○	○

3 パフォーマンステスト

(1) 内容

2020年に実施される東京オリンピック・パラリンピックで注目している選手や種目について、理由などを加えながら相手に伝えたり、関連する質問をしたりして、やり取りをする活動

(2) 準備する課題

<やり取り (例) >

A	What sport do you recommended to watch and which athlete is famous in that sport?
B	I recommend basketball because I have played it for five years. Hachimura Rui is a famous basketball player that plays in America now. I think he is the best player in the world. You should try to watch some basketball games.
A	内容について、もっと知りたいこと、分からなかったことなどについて質問をする。
B	理由などを加えながら、質問に答える。

<ワークシート>

<p><伝えたいことメモ></p> <p>◎ <u>おすすめの種目</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスケットボール <p>◎ <u>おすすめの理由</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分もしているから興味がある。 ・バスケットボールの八村塁選手のことを伝えたい。 <p>◎ <u>自分の考え</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・八村選手はバスケットボール選手の中でNo.1だと思う。

※A:教員等、B:生徒

(3) 採点の基準 (ルーブリック)

評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	誤りのない正しい英文で話すことができる。	「b」に加えて、自分の考えなどの詳細を話したり、様々な視点から質問したりしている。	「b」に加えて、自分の考えなどの詳細を話したり、様々な視点から質問したりしようとしている。
b	誤りが一部あるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文を用いて話すことができる。	東京オリンピック・パラリンピックについて①おすすめの種目についてその理由や考えなどを話したり、②相手の考えを求めたり、話題を広げたり深めたりしながら対話を継続させている。	東京オリンピック・パラリンピックについて①おすすめの種目についてその理由や考えなどを話したり、②相手の考えを求めたり、話題を広げたり深めたりしながら対話を継続させようとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

1 「話すこと〔やり取り〕」における第3学年の目標および評価規準

(1) 目標 (CAN-DO リスト)

日常の出来事などについて、頼み事をしたり、頼み事を引き受けたりできるとともに、つなぎ言葉を使って対話を続けることができる。

(2) 評価規準 (「話すこと〔やり取り〕」)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
[知識] 英語の特徴や決まりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝え合う技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、伝え合っている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてやり取りしようとしている。

※実際の指導と評価に当たっては、「書くこと」の評価規準も設定することが考えられる。

2 単元の目標と評価規準

(1) 目標

他者と情報のやり取りを行うために、英語で掛かってきた電話に対応し、相手からの伝言をメモに残して他者に伝えることができる。

(2) 評価規準 (「話すこと〔やりとり〕」)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
[知識] 助動詞や命令文を用いた文の構造を理解している。 [技能] 自分と他者の予定や都合について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝え合う技能を身に付けている。	他者と情報のやり取りを行うために、自分の家族が留守中にかかってきた電話に応じて、自分と他者の予定や都合について、事実や自分の考え、気持ちなどを簡単な語句や文を用いて、伝え合っている。	他者と情報のやり取りを行うために、自分の家族が留守中にかかってきた電話に応じて、自分と他者の予定や都合について、事実や自分の考え、気持ちなどを簡単な語句や文を用いて、伝え合おうとしている。

(3) 単元の指導計画

時間	ねらい (■) 言語活動等 (丸数字)	評価 (案)		
		知	思	態
1	<p>■単元の目標を理解することができる。</p> <p>■電話対応における言い回しを理解することができる。</p> <p>○教科書の対話文を見たり聞いたりしながら、電話対応における状況・内容の概要を理解する。</p> <p>○電話対応における表現方法を活用し、例示を基にペアで対話を行う。</p>			
2	<p>■伝言の内容を聞き取り、要点を理解して伝言メモをつくることができる。</p> <p>○伝言の要点について、注意して聞きながら対話をする。</p> <p>○伝言の内容を基に伝言メモを作成する。</p> <p>○教科書に例示されている内容以外の事柄について、カード形式で様々な伝言パターンを想定し、対話をしたり、伝言メモを作成したりする。</p>			
3	<p>■様々な伝言パターンについて、生徒同士で練習することができる。</p> <p>○聞き取れないときなど、電話対応の場面におけるよりの確なやり取りの方法について練習する。</p> <p>○対話文で使われている未知の語の意味や慣用表現の構造と意味を理解する。</p> <p>○自分にレベルに合わせた伝言メモを作成する。</p>		○	
4	<p>■電話の内容を聞き取り、要点を他者に伝えることができる。</p> <p>○電話の内容をまとめ、その内容についてペアで伝え合う。</p>	○	○	○

3 パフォーマンステスト

(1) 内容

英語で掛かってきた電話を受け、その内容を聞き取って家族に電話の内容を伝えたり、質問に答えたりする活動

(2) 準備する課題

- ・名前や時間などを変更した伝言カードを提示する。
- ・空欄を埋める形式や白紙の状態でするもの等、レベルに応じた伝言カードを数種類用意する。

A	Hello?
B	Hello.
A	This is John Brown. May I speak to Mr. Suzuki, please?
B	My father is not at home now.
A	All right. May I leave a message then?
B	Sure.
A	Could you tell him we've changed our plan for the trip.
B	You've changed your plan.
A	Yes. Please ask him to call me back after 2 p.m.
B	O.K. After 2 p.m. Is that all?
A	Yes, that's all. Thank you. Goodbye.
B	Goodbye.

A: 旅行プランの変更を提案し、伝言を依頼する。
B: 依頼された伝言を聞き取り、メモに残す。

(3) 採点の基準

評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	誤りのない正しい英文で話すことができる。	「b」に加えて、よりの確かな受け答えを電話で行ったり、伝えるべき内容を的確に捉えて伝えたりしている。	「b」に加えて、よりの確かな受け答えを電話で行ったり、伝えるべき内容を的確に捉えて伝えたりしようとしている。
b	誤りが一部あるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文を用いて話すことができる。	掛かってきた電話に対して、①電話の状況に応じたやり取りを継続させながら、②伝言すべき内容を概ね捉え、③その内容を概ね伝えられている。	掛かってきた電話に対して、①電話の状況に応じたやり取りを継続させながら、②伝言すべき内容を捉え、③その内容を概ね伝えようとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

※「思考・判断・表現」について、単元を通して指導したことを踏まえて以下の3つの条件を全て満たしていれば「b」としている。

- 条件1: 電話の状況に応じたやり取りを継続している。
条件2: 伝言の内容を捉え、情報を整理してメモを取っている。
条件3: 内容を整理して、相手に伝えている。

1 「話すこと[やりとり]」における第3学年の目標及び評価規準

(1) 目標 (CAN-DO リスト)

関心のある事柄について、相手からの質問に対し、その場で適切に応答したり、関連する質問をしたりして、互いに会話を継続することができる。

(2) 評価規準 (「話すこと[やりとり]」)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。</p> <p>[技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、事実や自分の考え、気持ちなどを簡単な語句や文を用いて伝え合う技能を身に付けている。</p>	<p>コミュニケーションを行う目的・場面・状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝え合っている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてやり取りしようとしている。</p>

※実際の指導と評価に当たっては、「書くこと」の評価規準も設定することが考えられる。

2 単元の目標と評価規準

(1) 目標

友だちと情報のやり取りを行うために、憧れの人についてまとめたクラスメイトのスピーチを聞き、簡単な語句や文を用いて即興で質問したり感じたことを伝え合ったりすることができる。

(2) 評価規準 (「話すこと[やりとり]」)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>[知識] スピーチの際の表現や、関係代名詞や接触節など人物を紹介するための表現の特徴やきまりを理解している。</p> <p>[技能] 憧れの人についてのスピーチをする中で、その人物についての説明と共に、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝え合う技能を身に付けている。</p>	<p>友だちと憧れの人物について情報のやり取りを行うために、憧れの人についてのスピーチを聞いて、自分の考えや気持ちなどを簡単な語句や文を用いて伝え合っている。</p>	<p>憧れの人についてのスピーチを聞いて、自分の考えや気持ちなどを簡単な語句や文を用いて伝え合おうとしている。</p>

(3) 単元の指導計画

時間	ねらい (■) 言語活動等 (○)	評価 (案)		
		知	思	態
1	<p>■単元の目標を理解することができる。</p> <p>■相手に伝わりやすいスピーチの構成について理解することができる。</p> <p>○教師の「憧れの人」についてのスピーチを、おおよその内容を推測しながら聞く。</p> <p>○教科書の中で人物を紹介しているページを参考にし、スピーチ特有の表現や、人物を紹介するための関係代名詞の構造を確認する。 (I'd like to ～. This is the woman who ～. など)</p>			
2	<p>■自分が紹介したい「憧れの人」についてのスピーチ文を作成することができる。</p> <p>○スピーチ文をペアで伝え合い、伝える内容を推敲する。</p>			
3 ～ 5	<p>■スピーチ原稿を作成することができる。</p> <p>○自分が紹介する人物の写真を用いながらペアでスピーチを行い、内容や発表方法を工夫する。</p> <p>※ハワイからの留学生が加わったグループでも練習を行う。</p>			
6	<p>■ある人物について書かれた文を読み、引用するなどしながら、自分の考えたことや感じたことなどについて伝え合うことができる。</p> <p>○ある人物について、自分の考えたことや感じたことなどについて伝え合う。</p> <p>○伝え合った内容を踏まえ自分の考えを書く。</p>	○	○	
7	<p>■自分の憧れの人について伝え合うことができる。</p> <p>○自分の憧れの人についてスピーチしたり、質問に答えたりする。</p>	○	○	○
8	<p>■4つのグループに分かれてスピーチを発表することができる。</p> <p>○それぞれのスピーチを聞いた後、スピーチの内容や発表者に関連する質問をし、その質問に答える。</p>		○	○

3 パフォーマンステスト

(1) 内容

ハワイから来る留学生にも伝わりやすいように、自分の憧れの人についてのスピーチをし、教師からの質問に対し、その場で適切に応答する活動

(2) 準備する課題

①方法

- ・教師に対して写真やイラストを見せながらスピーチを発表する。
- ・スピーチ発表の後、教師からの1～2個の質問に対して応答する。

②スピーチの基本スタイル

- ・次のような構成で作成する。

Introduction: 憧れの人への紹介

Body: 憧れる理由、自分の気持ちを補足する内容

Conclusion: これからの自分と重ねての意見

③教師とのやりとり例(スピーチ作成前の教師によるデモンストレーション)

A: I'd like to tell you about my ideal person.

This is Yoshida Miwa. She is a member of "Dreams Come True".

Have you ever seen her? Have you ever heard her songs?

I like their songs and I like her because her singing voice is very powerful and wonderful.

I respect her very much because she can make songs that encourage everyone.

After The Great East Japan Earthquake, her song "Nandodemo" has encouraged disaster victims.

I want to be a person who can encourage someone like her. Thank you.

B: How long have you been a fan?

A: I have been a fan for over 25 years.

B: How many members are there in her singing group?

A: They are duo group.

(3) 採点の基準（ルーブリック）

評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	相手にわかりやすいように、誤りのない正しい英文と発音で話すことができる。	「b」に加えて、憧れの人に対する自分の考えや気持ちなどを伝えながら、対話を継続させている。	「b」に加えて、憧れの人に対する自分の考えや気持ちなどを伝えながら、対話を継続させようとしている。
b	誤りが一部あるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文と発音で話すことができる。	聞き手からの質問に対し、①スピーチの内容を引用するなどしながら、②憧れの人に関する話題について話し、対話を継続させている。	聞き手からの質問に対し、①スピーチの内容を引用するなどしながら、②憧れの人に関する話題について話し、対話を継続させようとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

※「思考・判断・表現」について、単元を通して指導したことを踏まえて、以下の2つの条件を全て満たしていれば「b」としている。

条件1：スピーチの内容を引用するなどしていること。

条件2：相手の考えを求めたり、話題を広げたりしながら会話を継続していること。